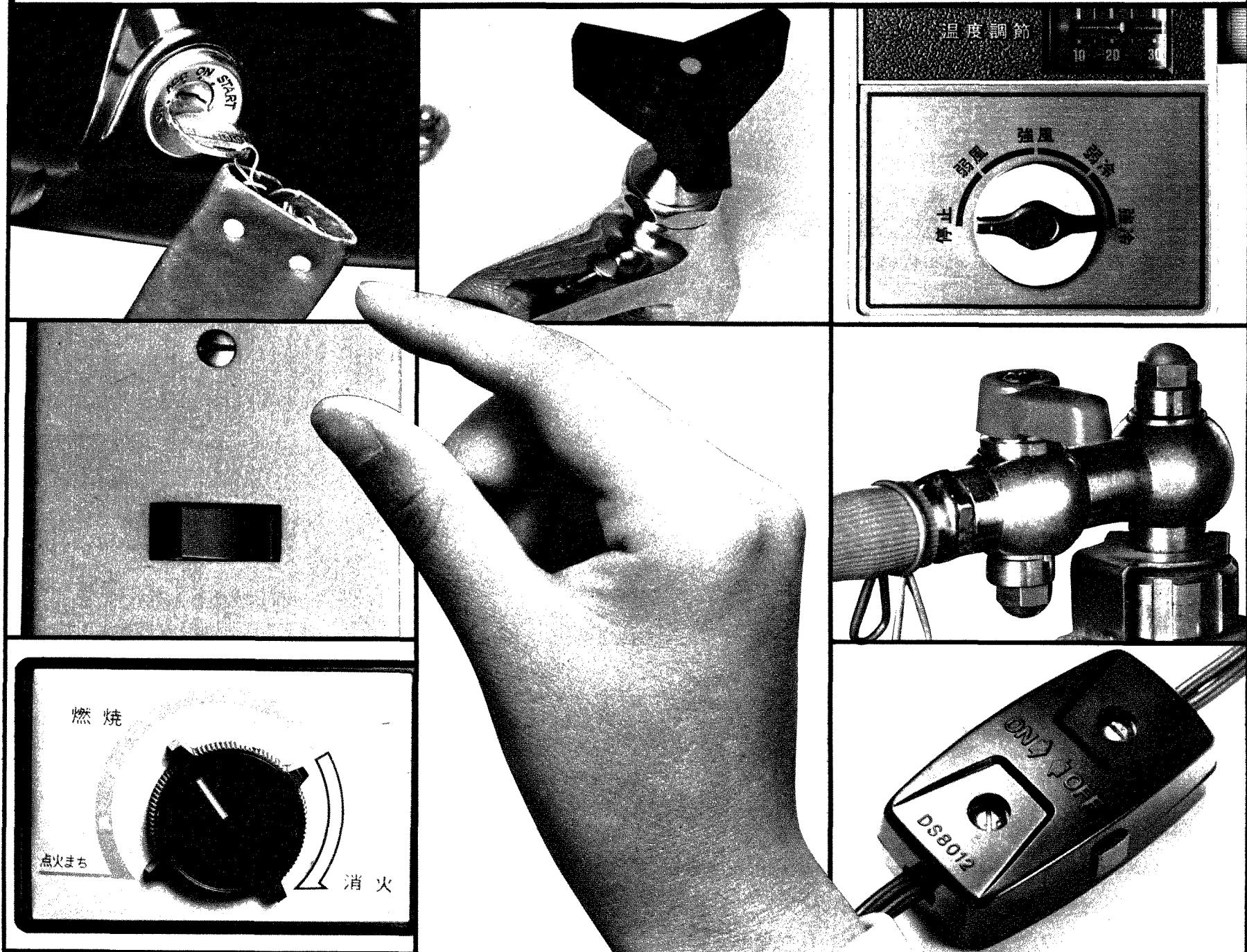


# 県民の友

48.12 発行/和歌山県知事公室広報課 和歌山市小松原通1の1



## まず、身近なところから 一効率に・大切に一

県庁の電話番号が  
かわります!!

かわる日：  
12月23日(日)  
午前9時30分から

新代表番号：  
(0734)32-4111

同時に、県庁内線の電話番号  
もかわります。  
県庁へご用の際は、交換手に  
課室名をいってください。

和歌山県知事

大  
橋  
正  
雄

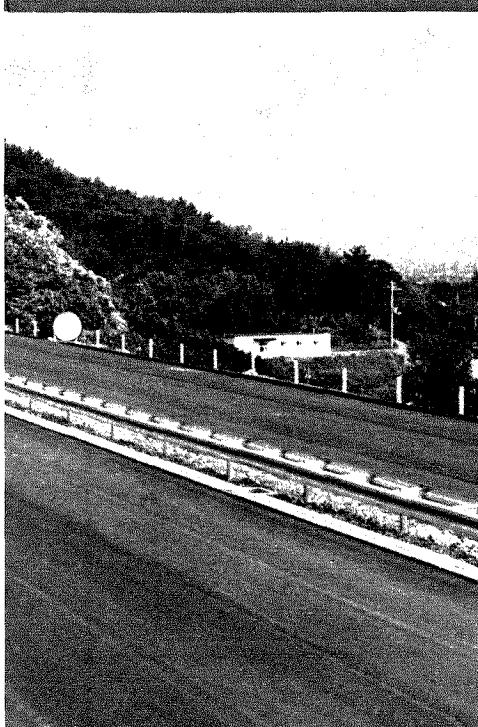
このようない時、県民の皆様とともに、  
物を大切にすることに努めることこそ、  
限りある資源の有効な利用につながり、  
豊かな社会を維持し、前進させるため  
も意義あることだと思います。  
“限りある資源を大切に”このために、  
今一度むだをなくし、物を大切にするた  
め、私たちの周囲を見まわし努力してみ  
ようではありませんか。

私たちの未来のために！

私たちには、かつて経験のないほど豊かな品物にとりまかれて生活しています。戦後、品物の不足時代を経験した私たちは、いま、子供たちが豊かな品物にとりまかれて育っているのを見ると、うらやましく感じるとともに、この生活をいつまでも続けられるようにと切望する次第です。

しかし、その反面、若い人たちも、また私たちも、物の大切さを感じなくなってしまっているのではないかと、ふと感じときがあります。

ご承知のように、昨今、国際情勢の変動とともに、石油、紙など一部原材料の供給にアンバランスをきたし、一時的にせよ、いくつかの生活物資の不足が目立つようになりました。



### さらに伸ばそう ふるさと“和歌山県”

生活圈道路や港の整備、福祉工場や各種施設の建設、昭和52年には全国植樹祭を開くなど、いろいろな施策がすすめられています。

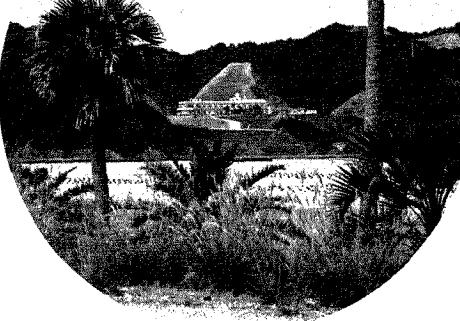
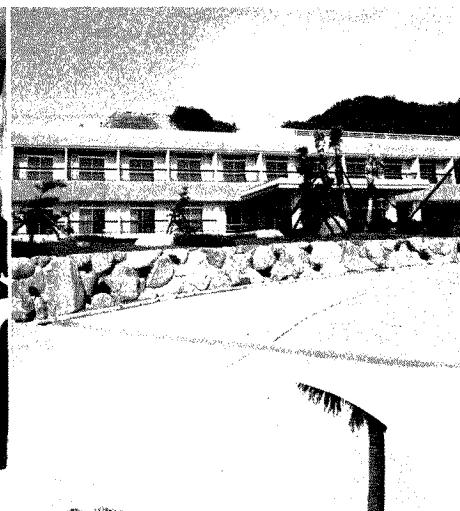
住みよい私たちの和歌山県をつくっていきために――。



#### 紀北養護学校が開校

からだなどが不自由でも、能力に合った勉強ができるようにと、和歌山市冬野に建設された養護学校。5月には、77人の生徒が入学して勉強を始めました。

通学バスをふやすなど、より安全に楽しく学べるよう努めています。



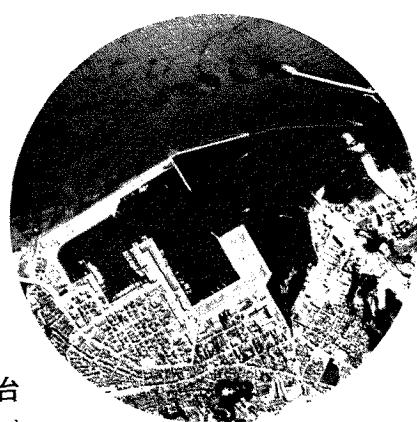
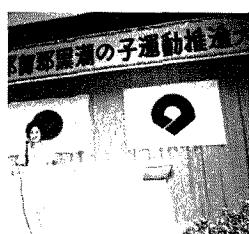
#### 過疎の町に“山村開発センター”

若者の都市への流出など、年々人口が減っている本宮町。

町の中心部に団地をつくり、奥地から移ってくる一集落の整備事業や山村開発センターの完成で、地域の方々の心のよりどころが一つふえました。

# あれこれ

住みよい郷土、個性のある和歌山県を築いていこうと、県民のみなさんの協力を得ながらすすめられた県政、この一年。その足跡のいくつかを抜き出してみました。



#### 漁業の基地、流通の拠点に

►21年をかけて完成した田辺漁港。

#### 怪獣—光化学スモッグ退治

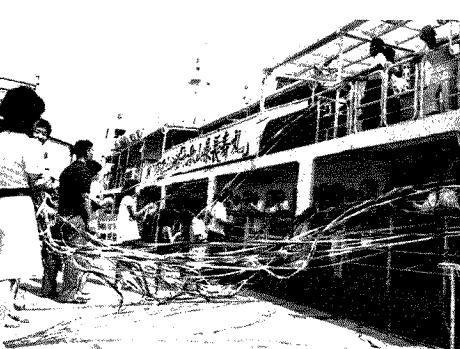
工場から排出される窒素酸化物を少なくする協定や、もし光化学スモッグが発生したとき、それをいち早くキャッチして対処できるように観測局を大幅にふやすなどを注いでいます。



#### “老人の船”が出航

健康で明るく、充実した老後を送れるように、医療費の無料化、憩いの家の建設、高齢者教室の開講、家庭奉仕員の増員などの施策を国や市町村と力を合わせてすすめています。

この老人の船も、県下のお年寄りが互に知識を深め、新しい生きかたを見つけてもらおうと実施したものです。



#### 心のうるおいを求めて

文化の秋「心の充実への探索」をテーマに、県下各地で開かれた第6回県民文化祭。

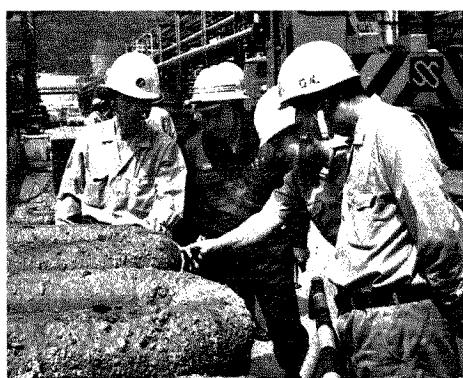


#### 県文化表彰

それぞれの業績をたたえるとともに、これからの一層のご活躍を願って、文化賞、文化功労賞、文化奨励賞が贈られました。

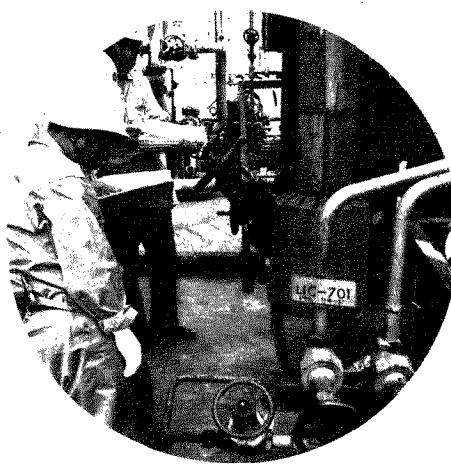


## 県民の友 (3)

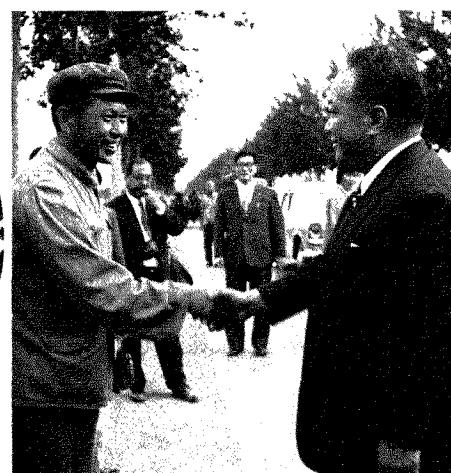


### 爆発事故はゴメン！

石油工場など、全国各地で爆発事故が発生しており、県では、抜き打ち検査をするほか、保安点検をさらに厳重にすることを各企業を指導しています。

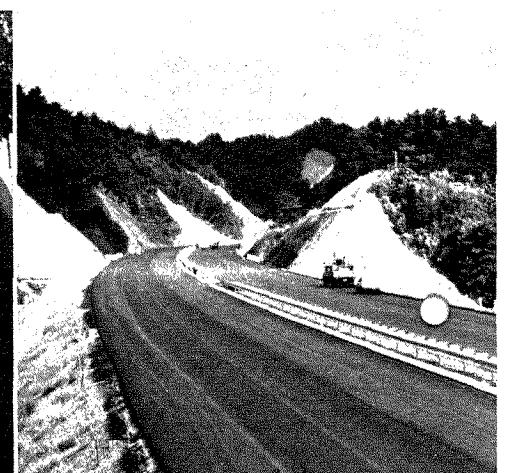


▲地元消防団と合同で東燃和歌山工場を終点検



### 大橋知事、中国を訪問

知事は、5月に国交樹立後初めての地方自治友好訪中代表団の顧問として中国を訪問。



▲紀州の魚、各地で安全PR（東京・浅草）

### 和歌山県の魚は安全

魚介類の汚染について、県では総力をあげて調査、その結果、7月5日に「安全宣言」をしました。

その後も、きれいな海を保てるよう工場排水や産業廃棄物の処理など、きびしくチェックするとともに、魚介類の検査を続けています。

以来、県の皮革産業など、交流が活発になっています。

11月には、中国からの要請に応じて皮革技術の専門家を派遣しました。

そして、技術の交流だけでなく原皮やシユロの輸入などの道が大きく開かれようとしています。



▲来春完成をめざして工事がすすむ阪和高速道路



# フォト県政



老人スポーツ大会▲



▼母子スポーツ大会



### 夏は子供の季節

「一日少年の船」「自然スクール」「みどりのバス教室」……県下の子供たちに、夏休みを利用して、郷土のことなど楽しく勉強してもらおうと計画した、いろいろの行事。みんな貴重な体験をしました。

### 丈夫に生み、たくましい子に！

各地ですすめられている「黒潮の子運動」。



## 交通安全情報

年次年始の交通安全運動実施

12月15日(土)～1月10日(木)

幼児の交通安全教育用

「母と子の交通安全ブック」を3歳児～5歳児に配布いたします。

(無料)まだとどかない場合は各市町村におたずねください。

12月15日愛車一日休みの日

